

---

# amnesty international

---

## オフ・ザ・レコード(記録に残すな) 「テロとの戦い」で行われた 強制失踪に対する米国の責任

Off The Record  
U.S. Responsibility for Enforced Disappearance  
In the “War on terror”



AI Index: AMR51/093/2007

INTERNATIONAL SECRETARIAT, 1 EASTON STREET, LONDON WC1X 0DW, UNITED KINGDOM

オフ・ザ・レコード(記録に残すな)  
「テロとの戦い」で行われた強制失踪に対する米国の責任

目次

用語解説.....	3
概要.....	4
はじめに.....	7
被拘禁者のリスト.....	10
子どもを含む被拘禁者の家族の拘禁.....	25
勧告.....	27

## 用語解説

CIA	米国中央情報局(U.S. Central Intelligence Agency)
FBI	米国連邦捜査局(U.S Federal Bureau of Investigation)
9-11 委員会報告書	米国に対する攻撃に関する国家調査委員会の報告書
FBI「最重要指名手配テロリスト」名簿	連邦捜査局が管轄している米政府が指名手配したテロ被疑者名簿
LIFG	リビア・イスラム戦闘集団
「正義のための報酬政策」	世界中にある米国の国益に対する国際テロリズム行為を防止・妨害・あるいは有利に解決する、またはそのような行為を犯した個人をいかなる国においても逮捕あるいは有罪に導く情報を提供した者に、国務長官が数百万ドルの報酬を与えることができるという、米務省による政策
「米国秘密拘禁施設」	米国当局が管轄する非公開、かつ起訴も通告もなしに個人を拘禁しておくための施設
「米国秘密拘禁政策」	「テロとの戦い」で行われる、テロリスト被疑者を秘密裏に逮捕、移送、拘禁する、米国当局の政策。2006年9月6日、ジョージ・W・ブッシュ大統領は同政策の存在を認めた。

## 概 要

2006年9月6日、ジョージ・W・ブッシュ大統領は、「テロとの戦い」による秘密拘禁プログラムを米国当局が実施していることを明らかにした。しかし、実際に何人が拘禁されているのかについては公開しなかった。何人が「行方不明」の状態であるかを正確に把握しているのは、唯一米国政府のみだが、報告書「オフ・ザ・レコード（記録に残すな）」は、米国政府が責任を負うべき強制失踪の被害者個々人について、最も包括的なリストを示している。

アムネスティ・インターナショナル、ケージ・プリズナーズ、センター・フォー・コンスティテューショナル・ライツ（CCR）、ニューヨーク大学ロースクール人権とグローバル正義センター、ヒューマンライツ・ウォッチ（HRW）、そしてリプリーヴの主要な人権NGO6団体の調査に基づき、「オフ・ザ・レコード」は、ある時点で米国当局によって秘密の場所で拘禁されたと考えられる個人を特定している。その全員が、今も「行方不明」のままである。

「オフ・ザ・レコード」は、「失踪」させられたとすでに判明している被拘禁者（例えばイブン・アルシャイク・アルリビとして知られるアリ・アブドゥルハミド・アルファヒリ）に関する新たな情報と、新たに消息不明の被拘禁者4人の名前を明らかにしている。同報告書は、秘密の拘禁場所を空にするために米国がどれ程違法に「代理拘禁」を利用しているのかを明らかにし、この制度が「極悪中の極悪」を標的にするどころか、被害者の人権を侵害しながら重要度の低い被拘禁者を一掃し、さらには強制失踪者の妻や子どもまでも拘束することもあるという事実を提示している。「オフ・ザ・レコード」はまた、秘密拘禁中、被拘禁者が受けたと主張している拷問その他の残虐な、非人道的な、または品位を傷つける取扱いや刑罰についても報告している。報告書は、以下の個人について報告している。

### 米国当局による拘禁が公式に確認されているが、その消息や所在については不明のままである個人

1. Hassan Ghul ハッサン・グル
2. Ali Abu al-Rahman al-Faqasi al-Ghamdi (Abu Bakar al Azdi) アリ・アブ・アルラーマン・アルファカシ・アルガムディ（アブ・バカール・アル・アズディ）
3. Ali Abdul-Hamid al-Fakhiri (Ali Abd-al-Hamid al-Fakhiri, Ibn al-Shaukh al Libi) アリ・アブドゥルハミド・アルファヒリ（アリ・アブアルハミド・アルファクヒリ、イブン・アルシャウク・アル・リビ）

### 目撃者の証言などから、米国当局が秘密裏に拘禁しているという有力な証拠があるが、その消息や所在については不明のままである個人

4. Mustafa Setmariam Nasar (Abu Musab al-Suri, Umar Abd al-Hakim) ムスタファ・セツマリ  
リアム・ナサル (アブ・ムサブ・アルスリ、ウマル・アブド・アルハキム)
- 5および6. 2人あるいは3人のソマリア人(名前は不明だが、そのうち1人は Shoeab as-Somali  
ショエアブ・アスソマリまたは Rethwan as-Somali レツワン・アスソマリ) \*
7. Mohammed Naeen Noor Khan (Abu Talha, Talaha) モハメド・ナイーン・ヌール・カーン (ア  
ブ・タリヤ、タラハ)
8. Abdul Basit アブドウル・バシット
9. Adnan (姓は不明) アドゥナン
10. Hudaifa フダイファ
11. Mohammed (姓は不明) (Mohammed al-Afghani) モハメド (モハメド・アルアフガニ)
12. Khalid al-Zawahiri ハリド・アルザワヒリ
13. Ayoub al-Libi アユーブ・アルリビ
14. Abu Naseem アブ・ナセーム
15. Suleiman Abdalla Salim (Suleiman Abdalla, Suleiman Abdalla Salim Hemed, Suleiman Ahmed  
Hemed Salim, Issa Tanzania) スレイマン・アブダラ・サリム (スレイマン・アブダラ、  
スレイマン・アブダラ・サリム・ヘメド、スレイマン・アフメド・サリム、イッサ・タン  
ザニア)
16. Yassir al-Jazeera (Yasser al-Jaziri, Abu Yasir al-Jaziri, Abu Yassir Al Jazeera, Yasser  
al-Jazeera) ヤシル・アルジャゼーリ (ヤシル・アルジャジリ、アブ・ヤシル・アルジャジリ、  
アブ・ヤシル・アルジャゼーリ、ヤシル・アルジャゼーリ)
17. Mohammed Omar Abdel-Rahman (Asadallah) モハメド・オマー・アブデルラーマン (アサダラ)
18. Majid (姓は不明) (Adnan al-Libi, Abu Yasser)\* マジード (アドナン・アルリビ、アブ・  
ヤセル)
19. Hassan (姓は不明) (Raba' i)\* ハッサン (ラバイ)
20. (名前は不明) al-Mahdi-Jawdeh (Abu Ayoub, Ayoub al-Libi)\* アルマーディジャウデ (ア  
ブ・アヨウブ、アヨウブ・アルリビ)
21. Khaled al-Sharif (Abu Hazem)\* ハレド・アルシャリフ (アブ・ハゼム)

**米国当局によって秘密裏に拘禁されているという複数の証拠があり、その消息や所在については不明のままである個人**

22. Osama bin Yousaf (Usama Bin Yussaf, Usama bin Yusuf, Usamah bin-Yusuf) オサマ・ビ  
ン・ユーサフ (ウサマ・ビン・ユサフ、ウサマ・ビン・ユスフ、ウサマウ・ビン・ユスフ)
23. Osama Nazir オサマ・ナジール
24. Sharif al-Masri (Abd-al-Sattar Sharif al-Masri) シャリフ・アルマスリ (アブドアルサ  
タール・シャリフ・アルマスリ)

25. Qari Saifullah Akhtar (Amir Harkat-ul-Ansar Qari Saifullah) カリ・サイフラー・アク  
タール (アミル・ハルカトウルアンサール・カリ・サイフラウ)
26. Mustafa Mohammed Fadhil (Moustafa Ali Elbishy, Hussein, Hassan Ali, Khalid, Abu Jihad)  
ムスタファ・モハメド・ファディル (モウスタファ・アリ・エリビシ、フッセイン、ハッサン・  
アリ、カリド、アブ・ジハド)
27. Musaab Aruchi (Mosabir Aroochi, Masoob Aroochi, Abu Mosa' ab al-Balochi, Abu Mosa' ab  
Aroochi, Musaad Aruchi, al-Baluchi) ムサーブ・アルチ (モサビール・アルーチ、マス  
ーブ・アルーチ、アブ・モサアブ・アルバロチ、アブ・モサアブ・アルーチ、ムサアド・  
アルチ、アルバルチ)
28. Ibad Al Yaquti al Sheikh al Sufiyan イイバード・アルヤクティ・アルシャイフ・アルス  
フィヤン
29. Walid bin Azmi ワリド・ビン・アズミ
30. Amir Hussein Abdullah al-Misri (Fazal Mohammad Abdullah al-Misri) アミル・フセイ  
ン・アブドゥラ・アルミスリ (ファザル・モハマド・アブドゥラウ・アルミスリ)
31. Safwan al-Hasham (Haffan al-Hasham) サフワン・アルハシャム (ハッフアン・アルハシャ  
ム)
32. Jawad al-Bashar ジャワード・アルバシャル
33. Aafia Siddiqui アーフィア・シディクイ
34. Saif al Islam el Masry サイフ・アルイスラム・エルマスリー
35. Sheikh Ahmed Salim シャイフ・アームド・サリム
36. Retha al-Tunisi レサ・アルチュニジ
37. Anas al-Libi (Anas al-Sabai, Nazih al-Raghie, Nazih Abdul Hamed al-Raghie) アナス・  
アルリビ (アナス・アルサバイ、ナジウ・アルラギエ、ナジウ・アブドゥル・ハメド・アルラギ  
エ)
38. (名前は不明) al-Rubaia アルルバイア
39. Speen Ghul スペーン・グル

\* アスタリスクがついている個人は、人権 NGO によって初めて失踪者として公表された個人。2 人のソマリア国  
籍の拘禁がこれまでに報告されている一方、第三のソマリア人が秘密拘禁施設に拘禁されていた可能性については  
明確になっていない点に注意が必要。

## はじめに

この報告書は、米国政府が海外で管轄している秘密拘禁施設に拘禁されていると考えられている、少なくとも 39 人の被拘禁者（全員が現在まで消息不明のままである）について報告している。報告書は、拘束されたときの状況に関する事実や拘禁について米国当局の関与を示す証拠、そして現在の消息や所在の手がかりとなるあらゆる情報を含む個々人の情報を紹介している。

多くのケースにおいて、リストにある被拘禁者の消息はまったく分かっていない。報道や調査によって多少の情報が浮かび上がったケースもある。しかしすべての場合、当局側の沈黙が深刻な不安を生み出しており、拘禁されている人びとの消息と所在について、米国政府は情報を開示する義務を負っている。

これらの人びとは国際法によって定義される強制失踪の被害者である。強制失踪は、以下のような状況下で起こる。すなわち：

*国の機関または国の許可、支援もしくは黙認によって行動する個人もしくは集団が、逮捕、拘禁、誘拐もしくはその他のあらゆる形態の自由の剥奪を行い、その自由の剥奪を認めず、もしくは失踪者の消息もしくは所在を隠蔽し、かつ失踪者を法の保護の外に置く。<sup>1</sup>*

強制失踪は、市民的及び政治的権利に関する国際規約（自由権規約）や拷問等禁止条約など、米国が批准し、遵守すべき条約に反する行為である。また、国際人道法にも違反している。

「失踪」した人びとの消息が不明のままである以上、国際法上、強制失踪は、失踪者の消息と所在が明らかになるまで条約違反の行為であり続ける。強制失踪は、失踪者本人に被害を与えていることに加え、その家族にも苦痛を与え続ける。

## 「テロとの戦い」における米国による拘禁

米国政府は、テロの被疑者や「テロとの戦い」に関連すると考えるその他の人びとに対する、広範な拘禁制度を構築した。この拘禁制度には、テロリストの容疑をかけられた者の秘密裏の移送（レンディション）、米国国外で、公式および秘密裏に米国当局が管理している拘禁施設での拘禁、そして米国政府の要請による、外国政府が管理する施設での拘禁（代理拘禁）などがある。

---

<sup>1</sup> 強制失踪からのすべての者の保護に関する国際条約第2条。同条約への署名開始は2007年2月6日。参照サイト：<http://www.ohchr.org/english/law/disappearance-convention.htm>

こうした行為の特徴は、手続き上の保護条項や事実上の権利保護の欠落（例えば、起訴なしの拘禁や拘禁の正当性を審理する機会がないままの拘禁など）であり、こうした行為は国際法に違反している。米国やその同盟国によって拘束された被拘禁者の多くは、数回にわたって秘密裏に移送され、おそらくは複数の秘密拘禁施設に入れられている。

## 報告書の範囲

この報告書は、ある時点で米国が海外で運営する秘密拘禁施設に拘禁されていると考えられ、現在も消息不明となっている被拘禁者たちに焦点を当てている。そのような「ブラック・サイト」（秘密拘禁施設）に拘禁されている人びとの一部は既に解放されているが、それらのケースはこの報告書では紹介していない。また、2006年9月にCIAの拘禁施設からグアンタナモ基地に移送された、14名の「高い価値がある」被拘禁者についても、この報告書では扱わない。これらの被拘禁者は、米国当局による秘密拘禁政策の存在をブッシュ大統領が公式に認めた2006年9月6日の前にグアンタナモに移送された。ブッシュ大統領は、ブラックサイトは「空」だが、同政策を再び実施する可能性があることを強調した。同政策のもとで拘禁されていたその他の人びとの消息については大統領は明らかにしていない。2007年4月にアブドゥ・アルハディック・アクイラキがCIAの秘密拘禁施設からグアンタナモに移送されたことは、同政策が現在も実施されていることを示している。この報告書で紹介している個々人の存在は、秘密裏に拘禁されたすべての人びとがいまだに行方不明のままになっていることを示している。

## 調査方法と情報源

米国当局による秘密拘禁プログラムという性質上、同政策実施による被拘禁者全員のリストは入手できていない。この報告書で紹介している情報は、6つのNGO<sup>2</sup>が実施した調査から得られた結

---

<sup>2</sup> 6つのNGO---Amnesty International, Cageprisoners, the Center for Constitutional Rights, the Center for Human Rights and Global Justice at NYU School of Law, Human Rights Watch, Reprieve---は、「テロとの戦い」で拘禁された個人の代理人として、あるいは啓発活動、調査、一般への報告書の公表などを通して、米国による「失踪」事件を解決するために先頭になって活動を続けてきた。The Center for Constitutional Rights ([www.ccrny.org](http://www.ccrny.org))、The Center for Human Rights and Global Justice ([www.chrgj.org](http://www.chrgj.org))、Reprieve ([www.reprieve.org.uk](http://www.reprieve.org.uk)) は、かつては秘密拘禁施設であったグアンタナモの被拘禁者や秘密裏に国家間移送された人びとなど「テロとの戦い」で米国に拘禁された人びとの代理人になってきた。Amnesty International ([www.amnesty.org](http://www.amnesty.org))、Cageprisoners ([www.cageprisoners.com](http://www.cageprisoners.com))、the Center for Human Rights and Global Justice、Human Rights Watch ([www.hrw.org](http://www.hrw.org))、Reprieve は、秘密拘禁や国家間秘密移送について調査を実施しその結果を報告書として発表し、米国やその他の政府に対し、そのような政策実施を止めるよう働きかけている。詳細は次を参照：Amnesty International, *United States of America: Below the radar: Secret flights to torture and 'disappearance'* (Apr. 2006), *United States of America/Yemen: Secret Detention in CIA "Black Sites"* (Nov. 2005); Cageprisoners, *Beyond the Law: The War on Terror's Secret Network of Global Detentions* (2006); Center for Human Rights and Global Justice, *Fate and Whereabouts Unknown: Detainees in the "War on Terror"* (Dec. 2005); Human Rights Watch, *Ghost Prisoner: Two Years in Secret CIA Detention* (Feb. 2007), *List of "Ghost Prisoners" Possibly in CIA Custody* (last updated Dec. 1, 2005), *The United States' "Disappeared": The*

論であり、それらは一般の情報源、政府関係者、また 6NGOが実施した目撃者への聞き取りなどから集められたものである。

この報告書は、それぞれの個人を3つのグループに分類しているが、そのグループ分けは該当する個人に関する証拠の入手の程度や種類に基づいている。当局筋からの情報が限られているために、このような分類をする必要があった。

**グループ1: 米国当局による拘禁が公式に確認されているが、その消息や所在については不明のままである個人**

**グループ2: 目撃者の証言などから、米国当局が秘密裏に拘禁しているという有力な証拠があるが、その消息や所在については不明のままである個人**

**グループ3: 米国当局によって秘密裏に拘禁されているという複数の証拠があり、その消息や所在については不明のままである個人**

それぞれのグループに分けて、被拘禁者が拘束された日付に基づき逆順に記載している。

---

*CIA's Long-Term "Ghost Detainees"* (Oct. 2004).

## 被拘禁者のリスト

**グループ1: 米国当局による拘禁が公式に確認されているが、その消息や所在については不明のままである個人**

Hassan Ghul

ハッサン・グル

2004年1月23日、パキスタン国籍のグル（Ghul）はイラク北部で逮捕された。「9.11 委員会報告書」は、グルはアルカイダのまとめ役であり、米国に拘禁されていることを確認している。2004年1月26日、ブッシュ大統領はグル逮捕に諜報関係者が大いに貢献したと賞賛した。逮捕後、グルは、米軍関係者と諜報関係者から尋問を受けたと伝えられている。2005年12月5日にABCニュースは、グルがポーランドにある米国が管轄する秘密拘禁施設に拘禁されていたと報道した。<sup>3</sup> 2006年7月19日、グルの名前は「もはや脅威ではないテロリスト」<sup>4</sup>名簿に載せられた。米国政府はグルの消息に関する情報を発表しておらず、彼の所在は不明のままである。

Ali Abu al-Rahman al-Faqasi al-Ghamdi (Abu Bakar al Azdi)

アリ・アブ・アルラーマン・アルファカシ・アルガムディ（アブ・バカール・アル・アズディ）

2003年の5月または6月、サウジアラビア国籍のアルガムディ（al-Ghamdi）は、サウジアラビアのメジナ当局に自ら出頭した。その数週間前に、妻が逮捕されたためにだと伝えられている。「9.11 委員会報告書」によると、アルガムディは2001年9月11日の攻撃に向けたハイジャック要員の候補であるとされ、現在は米国当局が拘禁していることが認められている。2006年7月19日、アルガムディの名は「もはや脅威ではないテロリスト」名簿に載せられた。アルガムディの消息に関する情報は米国政府から発表されておらず、所在はいまだに不明のままである。

---

<sup>3</sup> Brian Ross & Richard Esposito, *Sources Tell ABC News Top Al Qaeda Figures Held in Secret CIA Prisons*, ABC News, Dec. 5, 2005, <http://abcnews.go.com/WNT/Investigation/story?id=1375123> and List of 12 Operatives Held in CIA Prisons, ABC News, Dec. 5, 2005, <http://abcnews.go.com/WNT/Business/popup?id=1375287>.

<sup>4</sup> 「もはや脅威ではないテロリスト」名簿は、2006年7月19日の米議会に、J. Gresham Barrett 南カロライナ州議員、Thaddeus McCotter ミシガン州議員、John Carter テキサス衆議院、Melissa Hart 元ペンシルバニア衆議院によって紹介され、記録が残っている。リストの情報源について、これらの議員から何ら説明はなかった。また、このブリーフィング・ペーパーの準備中に行われた質問に対し、何ら新たな情報は提供されなかった。リストは次のサイトで閲覧できる。<http://thomas.loc.gov/cgi-bin/query/z?r109:H19JY6-0077>

Ali Abdul-Hamid al-Fakhiri (Ali Abd-al-Hamid al-Fakhiri, Ibn al-Shaukh al Libi)

アリ・アブドゥルハミド・アルファヒリ (アリ・アブアルハミド・アルファクヒリ、イブン・アルシャウク・アル・リビ)

2001年11月11日前後、リビア国籍のアルファヒリ (al-Fakhiri) はパキスタンのコハトでパキスタン当局に逮捕された。アルファヒリはリビア・イスラム戦闘集団 (LIGF) の構成員であり、1995年から2000年までアフガニスタンのアルカルダン軍事訓練所で指導的立場にあったといわれている。逮捕直後から、アルファヒリはアフガニスタンのカンダハールで米軍によって拘束された。アルファヒリの管理をめぐってCIAとFBIの間でもめたようだが、その後、アルファヒリは2002年1月にCIAの管理下に置かれることになったと伝えられている。報道によると、2002年1月9日までにアルファヒリは米国空母バターンに移送され、その後、同月中にエジプトに移送されたとみられる。2003年にアフガニスタンにある米国の秘密拘禁施設に移送される以前に、アルファヒリは別の国で拘禁されていた可能性もある。アルファヒリは2003年後半にアフガニスタンの秘密拘禁施設から、2005年後半または2006年初頭にはリビアに移されたようだ。2005年12月5日のABCニュースは、アルファヒリはポーランドにある米国の秘密拘禁施設で拘束されていると報じた。<sup>5</sup> 逮捕後のアルファヒリのもとのされる供述書は、報道によれば、米国のイラク戦争前のイラクに関する情報収集の主要な部分を占めていた。2004年1月、アルファヒリはその供述を撤回したと伝えられている。現在、アルファヒリはトリポリの独房に拘禁されており、結核を患って重篤な状態だと報じられている。アルファヒリに対する尋問や、尋問のために彼を第三国に移送したことなど、アルファヒリの取り扱いのさまざまな面で米国が関与していることを、米国政府関係者の少なくとも一人が認めている。2006年7月19日、アルファヒリの名前は「もはや脅威ではないテロリスト」名簿に載せられた。彼の消息に関して、米国政府からそれ以上の情報は発表されておらず、所在に関しても正式な説明はない。

---

<sup>5</sup> 脚注3を参照。

## グループ2: 目撃者の証言などから、米国当局が秘密裏に拘禁しているという有力な証拠があるが、その消息や所在については不明のままである個人

Mustafa Setmariam Nasar (Abu Musab al-Suri, Umar Abd al-Hakim)

ムスタファ・セツマリアム・ナサル (アブ・ムサブ・アルスリ、ウマル・アブド・アルハキム)

2005年11月1日またはその前後、シリアとスペインの二重国籍を持つナサル (Nasar) は、パキスタンのクエッタでパキスタン当局によって逮捕された。2004年11月、ナサルはFBIの「最重要指名手配テロリスト」名簿に記載された。2004年11月18日、米務省はナサルについて、アルカイダの構成員であり、アフガニスタンの軍事キャンプで軍事訓練を指導していたとし、ナサルの居場所に関する情報に対して、「正義のための報酬政策」を通じて500万ドルの報償を出すとした。その他の報道記事は、ナサルが思想的指導者であり、戦略家であり、また著述家として最も知られていると報じている。ナサルはまたアルカイダの活動に関連して、スペインでも指名手配されていた。2006年の4月と5月、パキスタンの諜報関係者は、ナサルが米国およびシリア双方から指名手配を受け、少なくとも2カ月前には米国に身柄を引き渡され、パキスタンにはいないことを認めた。同時期の2006年3月、ナサルの名前は少なくとも米国の一つのテロリスト容疑者名簿からはずされた。2006年7月19日、ナサルの名前は「もはや脅威ではないテロリスト」名簿に載せられた。その他のナサルの消息は米国政府から発表されておらず、所在も正式には説明されていない。

2人あるいは3人のソマリア人 (名前は不明だが、そのうち1人はShoeab as-Somali ショエアブ・アスソマリまたはRethwan as-Somali レツワン・アスソマリ)

2004年12月以前のあるとき、ソマリア国籍の2名が逮捕され、米国の秘密拘禁施設に拘禁された。マルワン・ジャボール (Marwan Jabour)<sup>6</sup> は、2004年12月から2005年末にかけて、彼の隣の監房に2名のソマリア人が拘禁されており、ときどきソマリア語で話しているのが聞こえたと述べている。

またこの拘禁施設で、ジャボールは一人のソマリア人の写真を見せられた。ジャボールはこの男を知っており、ソマリア人のショエアブ (Shoeab as-Somali) またはレツワン (Rethwan as-Somali) だったという。この写真は同施設内で以前に彼が拘禁されていた監房でとられたものだと、ジャボールは気がついた。このソマリア人の男性は、2004年12月から2005年後半にかけて、ジャボールの隣の房に収容されていたソマリア人の一人かどうかは判然としない。

---

<sup>6</sup> マルワン・ジャボール (Marwan Jabour) は米秘密拘禁施設に拘禁され、2006年に釈放された。詳細は、Human Rights Watch, *Ghost Prisoner: Two Years in Secret CIA Detention*, *supra* note 2.

これらの被拘禁者の消息に関して、米国政府からの情報はなく、所在も不明のままである。

#### Mohammed Naeen Noor Khan (Abu Talha, Talaha)

モハメド・ナイーン・ヌール・カーン (アブ・タリヤ、タラハ)

2004年7月13日、パキスタン国籍のカーン (Khan) は、CIAその他の米国の諜報関係者が支援するパキスタン当局によって逮捕されたと伝えられている。カーンの失踪後の報道によれば、カーンはアルカイダのコンピュータと通信の専門家として働いていた容疑を持たれていた。2006年に出版された回想録「イン・ザ・ライン・オブ・ファイア (砲火の中で)」で、パキスタンのムシャラフ大統領は、カーンに関する情報と高い関連性が見られる「氏名不詳のパキスタン人」の逮捕とその後の取り扱いについて、詳細に述べている。<sup>7</sup> ムシャラフ大統領によれば、この人物はパキスタン当局に逮捕されたが、これは彼を「追跡」していた米国によって提供された「強力な手引き」に基づいていた。また英国当局もこの人物に対して「直接接触」することが許されていたという。米国当局が管轄する秘密拘禁施設で拘禁されている少なくとも一人の被拘禁者が、カーンが拘禁されていることを示す写真を見せられている。2006年7月19日、「アブ・タラー」の名前が「もはや脅威ではないテロリスト」名簿に載せられた。カーンの消息に関して米国政府からの情報はなく、所在はあいかわらず不明である。

#### Abdul Basit

アブドゥル・バシット

2004年6月中またはそれ以前に、サウジアラビアまたはイエメン国籍のバシット (Basit) は逮捕され、米国当局が管理する秘密拘禁施設に移送された。マルワン・ジャボールによれば、彼はそこで他の被拘禁者たちと言葉を交わし、自分のことを「アブデュル・バシット (Abdul Basit)」と名乗った。米国政府はバシットに関する情報を公表しておらず、その所在はいまだ不明である。

#### Adnan (姓は不明)

アドゥナン

2004年6月中またはそれ以前に、アドゥナン (Adnan) は逮捕され、米国の秘密拘禁施設に移送された。マルワン・ジャボールによれば、彼はそこで他の被拘禁者たちと言葉を交わし、自分のことを「アドゥナン」と名乗った。アドゥナンの消息に関する米国からの情報はなく、所在は不

---

<sup>7</sup> Pervez Musharraf, *In the Line of Fire: A Memoir* 241-243 (2006).

明のままである。

Hudaifa

フダイファ

2004年6月中またはそれ以前にフダイファ (Hudaifa) は逮捕され、米国当局が管理する秘密拘禁施設に移送された。マルワン・ジャボールによれば、彼はそこで他の被拘禁者たちと言葉を交わし、自分自身を「フダイファ」と名乗った。フダイファの消息に関する米国からの情報はなく、所在は不明のままである。

Mohammed(姓は不明)(Mohammed al-Afghani)

モハメド (モハメド・アルアフガニ)

サウジアラビアで生まれたアフガン人のモハメド (Mohammed) は、パキスタンのペシャワールで2004年5月に逮捕された。マルワン・ジャボールによれば、モハンメドはジャボールと他の被拘禁者2人とともに、パキスタンのイスラマバードの拘禁施設から2004年6月16日に移送され、ジャボールとともに米国当局が管理する秘密拘禁施設に収容された。モハメドに関する米国当局からの情報はなく、所在は不明のままである。

Khalid al-Zawahiri

ハリド・アルザワヒリ

2004年2月25日、エジプト国籍のアルザワヒリ (Khalid al-Zawahiri) は、パキスタンの南ワジリスタン地方のアザム・ワラクでパキスタン当局によって逮捕された。逮捕直後、アルザワヒリはパキスタンと米国の諜報関係者双方から尋問を受けたと伝えられており、その後、おそらくはアフガニスタン内の米国当局が管理する拘禁施設に移送されたと言われている。アルザワヒリはアルカイダの幹部といわれるアイマン・アルザワヒリ (Ayman al-Zawahiri) の息子と報じられている。リド・アルザワヒリの消息に関して米国からの情報はなく、所在は依然として不明である。

Ayoub al-Libi

アユーブ・アルリビ

2004年1月、リビア国籍のアルリビ (al-Libi) はパキスタンのペシャワールで逮捕されたと伝

えられている。マルワン・ジャボールによれば、2004年1月16日、アルリビはジャボールとその他の被拘禁者2人とパキスタンのイスラマバードにある拘禁施設から移送され、ジャボールとともに米国当局の秘密拘禁施設で拘禁された。この秘密拘禁施設に拘禁された最初の月に、ジャボールはアユーブ・アルリビに呼びかけられたことがある。姓がアルマーディ・ジャウデ（アカ・アユーブ・アルリビ）（17ページ参照）という被拘禁者が、2006年に米国の秘密被拘禁施設からリビアの拘禁施設に移送されたと言われており、同じ人物である可能性が高い。アルリビのその後の消息に関する情報は米国政府から発表されておらず、所在は不明のままである。

#### Abu Naseem

#### アブ・ナセーム

チュニジア国籍のナセーム（Naseem）は、2003年6月17日にパキスタンのペシャワールでパキスタン当局によって逮捕された。アルカイダのために偽造書類を提供し、アルカイダの複数の作戦を支援した嫌疑を受けたと伝えられている。彼の逮捕時の報道によれば、彼は米国の管轄下に移送されたと報じられている。同じ日に、別の被疑者も逮捕され、アフガニスタンのバグラム空軍基地に移送されたと報じられている。2003年末に、アフガニスタンにある米国当局が管理する秘密拘禁施設で彼の声を聞いたとの証言がある。ナセームのその後の消息に関して米国政府からの情報はなく、所在も依然、不明である。

#### Suleiman Abdalla Salim (Suleiman Abdalla, Suleiman Abdalla Salim Hemed, Suleiman Ahmed Hemed Salim, Issa Tanzania)

#### スレイマン・アブダラ・サリム（スレイマン・アブダラ、スレイマン・アブダラ・サリム・ヘメド、スレイマン・アフメド・サリム、イッサ・タンザニア）

2003年3月18日、イエメンまたはタンザニア国籍のサリム（Salim）は、ソマリアのモガジシオで逮捕されたと伝えられている。ソマリア人の軍閥長が病院から彼を誘拐し、モガジシオの空港まで運び、空港では米国当局者がサリムを拘束したと報じられている。1998年のタンザニアとケニアの米国大使館爆撃に関与したとして、米国はサリムを追跡していたと伝えられる。2004年、アフガニスタンにある2カ所の米国秘密拘禁施設において、サリムが拘禁されていたとの証言がある。サリムを目撃した元被拘禁者によれば、サリムは米国による拘禁中に激しい拷問を受けており、腕が折られ、銃尻で額を殴打されていたとのことだ。米国政府はサリムに関する情報を公表しておらず、所在はいまだ不明である。

#### Yassir al-Jazeera (Yasser al-Jaziri, Abu Yasir al-Jaziri, Abu Yassir Al Jazeera, Yasser al-Jazeera)

#### ヤシル・アルジャゼーリ（ヤシル・アルジャジリ、アブ・ヤシル・アルジャジリ、アブ・ヤシル・ア

ルジャゼーリ、ヤシル・アルジャゼーリ)

2003年3月15日、モロッコ国籍のアルジャゼーリ (al-Jazeera) は、FBI 要員の支援を得たと伝えられるパキスタンの治安部隊によってラホールで逮捕された。報道によると、アルジャゼーリは米国とパキスタン双方の当局要員から尋問された。アルジャゼーリが拘束された時、彼の名は「重要指名手配テロリスト」リストには含まれていなかったものの、パキスタンの連邦情報相は彼をアルカイダ・ネットワークの上位7人の指導者の一人と認定していた。

目撃者の証言によると、アルジャゼーリはアフガニスタンのバグラム空軍基地内でCIAが管轄する施設内に2003年末から2004年始めまで拘禁されていた。マルワン・ジャボール (Marwan Jabour) の証言によると、アルジャゼーリは米国当局の秘密拘禁施設へ2004年4月に移送され、2006年6月までジャボールは彼との面会が何度か許されたという。またジャボールによると、アルジャゼーリは米国の尋問官の下で拷問を受け、激しく殴られた結果、腕に回復不能な怪我を負ったと語っている。ジャボールは「彼の体に拷問の痕が複数あるのをはっきりと見た」と語っている。<sup>8</sup> また、アルジャゼーリは大音量の音楽を4カ月間連続で聴かされ続けたと示唆した。

2003年に米国政府は、ヤシル・アルジャゼーリは逮捕もしくは殺害されたと認めた。2006年7月19日彼の名は「もう危険ではないテロリスト」名簿に載せられた。ヤシル・アルジャゼーリに関するその他の情報は米国政府より公表されておらず、彼の所在は不明のままである。

Mohammed Omar Abdel-Rahman (Asadallah)

モハメド・オマー・アブデルラーマン (アサダラ)

2003年2月中旬、エジプト国籍のアブデルラーマン (Abdel-Rahman) はパキスタンのクエッタにて逮捕された。アブデルラーマンは「盲目のシャイフ (首長)」と呼ばれるオマー・アブデルラーマン (Omar Adbel-Rahman) の息子であり、米国によると、2001年9月11日以前からアフガニスタンで軍事訓練キャンプを運営し、2001年9月11日の攻撃を計画する上である役割を担っていたという。アブデルラーマンから得られた情報は、ハリド・シャイフ・モハメド (Khalid Sheikh Mohammed) をパキスタン・米国合同部隊による逮捕に利用されたと報告されている。ハリド・シャイフ・モハメドは、秘密拘禁政策の適用を受けたひとりであり、現在、グアンタナモにおいて拘禁していると米国政府が認めている人物である。アブデルラーマンは逮捕後、米国当局によって拘禁され、2003年3月始めに米国当局の尋問を受けたと報道されている。ABCニュースは2005年12月5日、アブデルラーマンがポーランドにある米国の秘密拘禁施設で拘禁されていると報道した。<sup>9</sup> 2006年7月19日、彼の名は「もはや脅威ではないテロリスト」名簿に載せ

<sup>8</sup> 2006年11月23日、マルワン・ジャボールへの聞き取りより。

<sup>9</sup> 脚注3を参照。

られた。アブデルラーマンの消息に関するその他の情報は米国政府からは公開されておらず、その行方は不明なままである。

**Majid [姓は不明](Adnan al-Libi, Abu Yasser)**

**マジード** (アドナン・アルリビ、アブ・ヤセル)

リビア国籍のマジード (Majid) は 2003 年にアフガニスタンにて逮捕されたと思われる。米国財務省はアドナン・アルルビ (Adnan al-Libi) を「幹部クラスのリビア・イスラム戦闘集団 (LIFG) 指導者」と称していた。<sup>10</sup> 報道によると 2003 年末、アドナン・アルルビがアフガニスタンにある米国秘密拘禁施設で拘禁されており、その後、別の秘密拘禁施設に移送され、そこで 2004 年 4 月まで拘禁されていたと考えられている。マジードの消息について米国政府は何の情報も公開しておらず、所在は不明のままである。

**Hassan [姓は不明] (Raba' i)**

**ハッサン** (ラバイ)

リビア国籍のハッサン (Hassan) は、パキスタンで 2002 年に逮捕されたと思われる。彼が逮捕された際に、当時妊娠中だった妻 (氏名・国籍は不明) が一緒だった。ハッサンはリビア・イスラム戦闘集団 (LIFG) の一員だったと言われている。逮捕後の 2003 年 11 月にハッサンはアルファヒリ (al-Fakhiri [ak Ibn al-Shaykh al-Libi]) とともにアフガニスタンの秘密拘禁施設から別の秘密拘禁施設に移送され、2004 年 4 月までそこにいたと思われる。その後、2005 年末もしくは 2006 年にリビアに移送され、現在トリポリにて拘禁されていると報道されている。ハッサンの消息に関する情報は米国政府から公表されておらず、その行方について公式発表はないままである。

**(名前は不明) al-Mahdi-Jawdeh (Abu Ayoub, Ayoub al-Libi) アルマーディジャウデ** (アブ・アヨウブ、アヨウブ・アルリビ)

リビア国籍のアルマーディジャウデ (Al-Mahdi-Jawdeh) は LIFG の一員だったとされている。2006 年にリビアに移送される前、アルマーディジャウデは米国当局による秘密拘禁施設にいたと報道されている。アルマーディジャウデは、マルワン・ジャボール (15 ページ参照) とともに秘密拘禁施設に拘禁されていたというアユーブ・アルリビ (Ayoub al-Libi) という名の被拘禁者と同一人物である可能性がある。米国政府はアルマーディジャウデの消息について一切の情報を公

---

<sup>10</sup> 米財務省 *Treasury Designates UK-Based Individuals, Entities Financing Al Qaida-Affiliated LIFG*, Feb. 8, 2006. 次の URL で閲覧できる。 <http://www.treas.gov/press/releases/js4016.htm>

表しておらず、現在も所在は不明である。

#### Khaled al-Sharif (Abu Hazem)

##### ハレド・アルシャリフ (アブ・ハゼム)

リビア国籍のアルシャリフ (al-Sharif) はLIFGの一員だったとされている。アルシャリフはアルファヒリ (al-Fakhiri) やハッサン (Hassan) とともに 2003年末にアフガニスタンの秘密拘禁施設において拘禁されていたと報道されている。アルシャリフは2005年末もしくは2006年にリビアに移送され、その後トリポリにて拘禁されていると報じられている。アルシャリフの消息について、米国政府は情報を公表しておらず、その所在は不明なままである。

**グループ 3: 米国当局によって秘密裏に拘禁されているという複数の証拠があり、その消息や所在については不明のままである個人**

#### Osama bin Yousaf (Usama Bin Yussaf, Usama bin Yusaf, Usamah bin-Yusuf)

##### オサマ・ビン・ユーサフ (ウサマ・ビン・ユサフ、ウサマ・ビン・ユスフ、ウサマウ・ビン・ユスフ)

2005年8月7日、パキスタンもしくはサウジアラビア国籍と思われるビン・ユーサフ (bin Yousaf) は、パキスタンのファイサラーバードで逮捕された。アブ・ファラージ・アルリビ (Abu Faraj al-Libi) の電話帳にあった記録から彼の携帯電話を追跡されたことによって逮捕されたと報じられている。アルリビは、米国諜報関係者の支援を受けたパキスタン当局によって、パキスタンのマルダーンで 2005年5月2日に逮捕され、秘密拘禁政策の実施を受け、現在はグアンタナモ収容所に拘禁していることを米国当局が認めている被拘禁者のひとりである。ビン・ユーサフはアルカイダの職員で、アルリビと近い関係にあったとされている。報道によると、ユーサフが逮捕された際にドイツとイタリアの都市の地図が押収された。ユーサフは 2005年8月9日にラホールへ、そして翌日にはイスラマバードへと移送され、そこで米国当局者によって尋問されたと報じられている。米国政府はユーサフの消息についての情報を一切公表しておらず、所在はいまだ不明である。

#### Osama Nazir

##### オサマ・ナジール

パキスタン国籍のナジール (Nazir) は 2004年11月、パキスタンのファイサラーバードにおいてパキスタン当局によって逮捕された。ナジールはアルカイダとの関与が疑われている組織ジェイシェムハンマドの、高い地位の要員だったと報じられている。ナジールは、2002年3月にイスラマバードにて起きた、厳重警戒・外交地区にある教会への攻撃に関与した容疑がかけられている。また後に、2005年7月7日のロンドン攻撃における自爆犯シャザド・タンウィアと関係があると

された。報道によると、ナジールの逮捕後、米国当局が彼の身柄を要求したという。2006年7月19日、ナジールの名は「もはや脅威ではないテロリスト」名簿に載せられた。ナジールの消息ついて、これ以上の情報は米国政府から公表されておらず、所在は不明である。

**Sharif al-Masri (Abd-al-Sattar Sharif al-Masri)**

**シャリフ・アルマスリ** (アブドアルサタール・シャリフ・アルマスリ)

エジプト国籍のアルマスリ (al-Masri) は2004年8月29日、パキスタンのクエッタにおいて、パキスタン当局によって逮捕されたと報じられている。パキスタン情報相は、彼の逮捕を2004年9月1日に認めた。情報相はアルマスリとともにもう一人が逮捕されたことを認めたが、その身元については不明だと語った。報道は、この人物がサウジアラビア、イエメンもしくはパキスタンいずれかの国籍である伝えている。アルマスリが彼の尋問員にアルカイダの計画について話したという記載が、2005年11月、米国の情報筋は、米国内の目標を攻撃するために核物質をメキシコ経由で米国に持ち込むというアルカイダの計画を、アルマスリが尋問官に話したと伝えている。米国はアルマスリの消息に関する情報を公表しておらず、所在は不明のままである。

**Qari Saifullah Akhtar (Amir Harkat-ul-Ansar Qari Saifullah)**

**カリ・サイフラー・アクタール** (アミル・ハルカトウルアンサール・カリ・サイフラーウ)

パキスタン国籍のアクタール (Akhtar) は2004年8月6日、パキスタンの諜報関係者に追跡され、アラブ首長国連邦のドバイで同当局の支援のもとで逮捕されたと報道されている。2004年8月から10月にかけて多くの報道が、アクタールは同国で逮捕された後にパキスタンへ移送され、パキスタン当局によって尋問されたというパキスタン情報相の発言を取り上げている。ある匿名の諜報関係者は、アクタールはラホールで尋問されている可能性があるとし唆した。アクタールの容疑は、ハルカトル・ジハード・アルイスラミ (Harkat-ul Jihad al-Islami) を率いていたこと、パキスタンのペルベズ・ムシャラフ大統領暗殺計画に関与したこと、そしてテロリストの訓練キャンプをアフガニスタンのリシュコルで運営していたことである。パキスタン最高裁判所は、アクタールの人身保護請求に関して、パキスタン政府にアクタールの拘禁に関する詳細を提出するよう求めた。米国政府がアクタールの尋問に関心を持っていると報道されており、2006年7月19日に彼の名は「もはや脅威ではないテロリスト」名簿に載せられた。アクタールの消息についての情報は米国政府から公表されておらず、所在はいまだ不明である。

**Mustafa Mohammed Fadhil (Moustafa Li Elbishy, Hussein, Hassan Ali, Khalid, Abu Jihad)**

**ムスタファ・モハメド・ファディル** (モウスタファ・アリ・エリビシ、フッセイン、ハッサン・アリ、カリド、アブ・ジハード)

エジプト国籍あるいは更にケニアの国籍も持つ可能性があるファディル (Fadhil) は 2004 年 7 月もしくは 8 月、パキスタンにおいてパキスタン当局によって逮捕されたと報じられている。ファディルは 1998 年に起きたタンザニアとケニアの米国大使館爆破事件に関して、米国連邦政府の起訴状に名を上げられている人物である。2001 年 10 月 10 日、ファディルの名は FBI の「最重要指名手配テロリスト」名簿に載せられた。その後、彼の名は何の説明もなく名簿から削除された。米国政府はファディルの消息に関する情報を公表しておらず、彼の所在は不明のままである。

**Musaab Aruchi (Mosabir Roochi, Mosoob Aroochi, Abu Mosa' ab al-Balochi, Abu Mosa' ab Aroochi, Mussaad Aruchi, al-Baluchi)**

**ムサーブ・アルチ (モサビール・アルーチ、マスーブ・アルーチ、アブ・モサアブ・アルバロチ、アブ・モサアブ・アルーチ、ムサアド・アルチ、アルバルチ)**

パキスタン国籍のアルチ (Aruchi) は 2004 年 6 月 12 日、米国諜報筋の電話とインターネット探知に基づき、CIA が指揮したとされる準軍事部隊によりパキスタンのカラカチで拘束された。アルチはアルカイダの幹部要員とされており、ハリド・シャイフ・モハメド (Khalid Sheikh Mohammed) の甥である。ハリドはかつて米国秘密拘禁政策の適用を受け、現在はグアンタナモに拘禁されていると米国が認めている被拘禁者である。匿名のパキスタン諜報関係者複数が、アルチはパキスタン当局によって 3 日間拘禁され、その後、何ら印の付いていない CIA の飛行機でパキスタン空軍基地から目的地不明のまま移送されたと語っている。2006 年 7 月 19 日、モサビール・ローチ (Mosabir Rooch) 名が「もはや脅威ではないテロリスト」名簿に載せられた。アルチの消息に関する情報は米国政府から公表されておらず、所在は不明のままである。

**Ibad al Yaquti al Sheikh al Sufiyan**

**イバード・アルヤクティ・アルシャイフ・アルスフィヤン**

サウジアラビア住民のスフィヤンは 2004 年 1 月 22 日、パキスタンのカラカチにて、パキスタン情報当局によって逮捕されたと報じられている。スフィヤンはアルカイダの要員であると疑われている。スフィヤンはワリード・ビン・アズミ (Walid bin Azmi、20 ページ参照) が逮捕された翌日に逮捕されており、アズミが提供した情報がスフィヤンの逮捕につながったと報道は示唆している。米国政府はスフィヤンの消息について情報を公表しておらず、所在はいまだ不明である。

**Walid bin Azmi**

**ワリード・ビン・アズミ**

「アラビア人」と報じられるビン・アズミ (bin Azmi) は 2004 年 1 月、パキスタンのカラチでの諜報関係者による捜索によって拘束されたと伝えられている。ビン・アズミが拘束された諜報関係者による捜索では 12 人ほどが逃走し、拘束されたものは FBI と報じられる米国当局に身柄を引き渡されたと伝えられる。ビン・アズミはパキスタンに拠点を持つアルカイダ職員であるとされ、2000 年の米国駆逐艦コール爆破事件の容疑者のひとりと言われている。ビン・アズミの消息に関する情報は米国政府から公表されておらず、所在はいまだ不明である。

**Amir Hussein Abdullah al-Misri (Fazal Mohammad Abdullah al-Misri)**

**アミル・フセイン・アブドウラ・アルミスリ (ファザル・モハマト・アブドゥラウ・アルミスリ)**

エジプト国籍のアルミスリ (al-Misri) は 2004 年 1 月 18 日、パキスタンのカラチにて、パキスタン当局によって逮捕されたと報じられている。アルミスリはアーメド・オマー・サイド・シャイフ (Ahmed Omar Saeed Sheikh) とアルカイダと関係があると伝えられている。逮捕直後の報道は、ある匿名のパキスタン当局関係者の話として、尋問官はアルミスリが米国の指名手配人物かどうかを確認しようとしており、近く FBI が尋問に加わる可能性があるとしていた。同人物はまた、アルミスリが逮捕された当局の捜索で逮捕された人びとはイスラマバードへ移送され、その後、米国当局に身柄を引き渡されると語ったとも伝えられている。米国政府はアルミスリの消息に関する情報は公表しておらず、所在は不明のままである。

**Safwan al-Hasham (Haffan al-Hasham)**

**サフワン・アルハシャム (ハッフアン・アルハシャム)**

2003 年 5 月 15 日、サウジアラビア国籍のアルハシャム (al-Hasham) は、パキスタンのハイデラーバードからカラチに車で移動中、おそらく米国当局者の立ち会いの下で、パキスタン当局によって逮捕された。報道記事は、アルハシャムがアルカイダの連絡責任者であった疑いが持たれていたことを示唆している。2006 年 7 月 19 日、アルハシャムの名は「もはや脅威ではないテロリスト」名簿に載せられた。アルハシャムの消息に関する情報は米国政府から公表されておらず、行方はいまだ不明のままである。

**Jawad al-Bashar**

**ジャワード・アルバシャル**

2003 年 5 月初め、エジプト国籍のアルバシャル (al-Bashar) はバロチスタン州のウィンデール (Vindhur あるいは Windar) で、アフガニスタン国籍のファルザンド・シャー (Farzand Shah) とともに、法執行当局によって逮捕された。アルバシャルはパキスタンで活動するアルカイダの

一員と考えられており、ハリド・シャイフ・モハメドとの関係が疑われている。ハリドはかつて米国秘密拘禁政策の適用を受け拘禁され、現在はグアンタナモに拘禁されていると米国が認めている被拘禁者である。アルバシャルの消息に関する情報は米国政府から公表されておらず、所在はいまだ不明のままである。

#### **Aafia Siddiqui**

#### **アーフィア・シディクイ**

2003年3月28日ころ、報告によれば、パキスタン国籍のシディクイ (Siddiqui) は、3人の子ども (当時それぞれ7歳、5歳、6か月) とともにパキスタンのカラチで逮捕されたと報じられている。2003年3月18日、FBIはシディクイの所在を確認して尋問できるように、彼女に関する情報提供を求める通達を出した。マジード・カーン (Majid Khan)、アリ・アブドゥ・アルアジス・アリ (Ali ‘Abd al- ‘Aziz ‘Ali.) をはじめとする秘密拘禁政策の適用を受け拘禁されていると米国政府が認めている被拘禁者にシディクイが関係していると、米国政府は主張してきた。シディクイは逮捕された後、米国に引き渡され拘束されていると伝える報告が数多くある。しかし、2004年5月26日、当時のアシュクロフト司法長官とロバート・ミュラー・3世FBI長官は、シディクイを米国に脅威を与える人物であると特定し、これにより彼女は拘禁されていないと判断していることを示唆した。米国政府はシディクイに関するそれ以上の情報を明らかにしておらず、その所在は不明のままである。

#### **Saif al Islam el Masry**

#### **サイフ・アルイスラム・エルマスリー**

2002年9月、エジプト国籍のエルマスリー (el Masry) はグルジア政府当局者によりグルジアのパンキシ渓谷で逮捕された。エルマスリーはアルカイダの上級評議員であると疑われている。報道によると、グルジア政府高官はエルマスリーと同搜索で拘束したその他の被拘禁者たちを米国当局側に引き渡したことを認めた。米国政府はエルマスリーのその後の消息に関する情報を明らかにしておらず、現在も行方不明のままである。

**Sheikh Ahmed Salim** (Swedan, Sheikh Ahmad Salem Suweidan, Sheikh Ahmed Salem Swedan, Sheikh Swedan, Sheikh Bahamadi, Ahmed Ally, Bahamad, Sheik Bahamad, Ahmed The Tall)

**シャイフ・アーメド・サリム** (スウェダン、シャイフ・アーマド・サレム・スウェイダン、シャイフ・アーメド・サレム・スウェダン、シャイフ・バハマディ、アーメド・アリ、バハマド、シェイク、バハマド、アーメド・テ・タル)

2002年7月11日、ケニア国籍のサリム（Salim）はパキスタン政府当局者によってカラチで逮捕された。おそらく米国の法執行機関の支援があったと思われる。サリムは2002年のある時点で米国の拘禁施設に移送されたことを報道は示唆している。サリムは、1998年のタンザニアとケニアにおける米国大使館爆破事件に関与しているとして、米国連邦当局が起訴した。サリムは現在もFBIの「最重要指名手配テロリスト」の名簿に名前が挙がっている。サリムのその後の消息について米国政府からはなんの情報も開示されず、現在も所在不明のままである。

**Retha al-Tunisi**

**レサ・アルチュニジ**

2002年前半から中頃にかけて、チュニジア国籍のアルチュニジ（al-Tunisi）はパキスタンのカラチで逮捕された。アルチュニジはアルカイダの上級幹部であるとされている。マルワン・ジャボール（Marwan Jabour）は米国の秘密拘禁施設に拘禁されていた時、米国管轄下に拘禁されていると思われるアルチュニジの写真を見せらたと報告している。この写真は、チュニジア国籍のリダ・ビン・サレ・アルヤジディ（Ridah bin Saleh al Yazidi）の可能性もあるが、アルヤジディは現在グアンタナモに拘禁されており、弁護人がついていない。アルチュニジの消息について米国政府は明らかにしておらず、所在は分かっていない。

**Anas al-Libi** (Anas al-Sabai, Nazih al-Raghie, Nazih Abdul Hamed al-Raghie)

**アナス・アルリビ**（アナス・アルサバイ、ナジウ・アルラギエ、ナジウ・アブドゥル・ハメド・アルラギエ）

2002年2月、リビア国籍のアルリビ（al-Libi）はスーダンのハルツームで逮捕されたと報じられている。その後、米国とスーダン双方の当局者の中でアルリビの身柄をを米国側に引き渡す交渉がなされたと伝えられている。アルリビは、1998年のタンザニアとケニアの米国大使館爆破事件に関与したとして連邦当局によって起訴されており、2001年10月10日、アルリビの名前はFBIの「最重要指名手配テロリスト」名簿の第一版に掲載され、現在も掲載されている。おそらく、アルリビは拘束された後、ある時点でエジプトに移送され、現在はまた別の国にいると思われる。アルリビのその後について米国政府は明らかにしておらず、その所在は今も不明である。

**(姓は不明) al-Rubaia**

**アルルバイア**

2002年、イラク国籍のアルルバイア（al-Rubaia）は、イラク国内で逮捕され、後に米国の拘禁施設に移送されたと思われる。アフガニスタンにある秘密拘禁施設で拘禁されていた別の被拘禁者

は、独房の壁に書かれたアルルバイアの名前と彼の逮捕に関する情報を読んでいた。アルルバイア  
アの消息についての情報を米国政府は明らかにしておらず、所在は不明のままである。

**Speen Ghul**

**スペイン・グル**

マルワン・ジャボール (Marwan Jabour) は、米国当局による秘密拘禁施設に入れられていた時、  
アフリカのある国の国籍で、米国当局によって拘束されていると思われるスペイン・グル  
(Speen-Ghul) の写真を見せられた。米国政府はスペイン・グルの消息について情報を開示して  
おらず、その所在は不明のままである。

## 子どもを含む被拘禁者の家族の拘禁

いくつかの事例で、米国の秘密拘禁政策により拘束されている被拘禁者の（子どもを含む）家族が逮捕・拘禁されたり、威圧的な取り扱いを受けたりしている。捜索を受けている個人とその家族は別々に逮捕されることもあれば同時に逮捕されることもある。そのような取り扱いの1つの目的は、被拘禁者の情報を得ることにあると思われる。家族の何人かはその後釈放されたが、消息が依然として不明のままの家族もいる。

2002年9月、報道によると、ユスフ・アルハリド (Yusuf al-Khalid、当時9才)と アベド・アルハリド (Abed al-Khalid、当時7才)は、父親であるハリド・シャイフ・モハメド (Khalid Sheikh Mohammed) をパキスタン治安部隊が拘束しようとした際に捕らえられた。パキスタン当局はその数ヵ月後にハリド・シャイフ・モハメドを逮捕することに成功し、米国政府はハリド・シャイフ・モハメドを米国秘密拘禁政策に基づいて拘禁していることを認めた。現在、ハリド・シャイフ・モハメドはグアantanamo収容所に収容されている。

2007年4月16日の声明で、アリ・カーン (Ali Khan、米国秘密拘禁政策により拘禁され、現在グアantanamoにいて米国政府が認めたマジード・カーンMajid Khanの父親)は、ユセフとアベド・アルハリドは、マジード・カーンとその弟のモハメド (Mohammed) が2003年3月から4月に拘禁されていたのと同じ場所に拘禁されていることを示唆した。モハメドは2003年3月5日の逮捕後、約1か月間、パキスタン当局によって拘禁されていた (下記参照)。アリ・カーンはその声明の中で以下のように指摘している。

\*\*\*\*\*

モハメドによると、彼とマジードは、ハリド・シャイフ・モハメドの、おそらく6才と8才の幼い2人の子どもが入れられている場所に同じく拘禁されていた。パキスタン人の看守は私の息子に、2人の子どもは上の階に別々に拘禁されており、別の看守たちが食事と水を与えていない、と教えた。また、脅えさせるために子どもたちは膝の上に蟻や他の虫を置かれるなど精神的な虐待を受け、彼らの父親が隠れている場所を言わせようとしている。<sup>11</sup>

\*\*\*\*\*

ハリド・シャイフ・モハメドが2003年3月に逮捕された後、ユセフとアベド・アルハリドはパキスタンから米国の拘禁施設に移送されたと報じられている。伝えられるところでは、子どもたちは、

---

<sup>11</sup> 2007年4月16日付けのアリ・カーンの供述書を参照。以下のURLで閲覧可能。  
[www.ccr-ny.org/v2/legal/september\\_11th/docs/Ali\\_Khan\\_statement.pdf](http://www.ccr-ny.org/v2/legal/september_11th/docs/Ali_Khan_statement.pdf)

父親の活動に関する尋問のために移送され、父親が米国に協力することを強要するために利用された。2002年3月10日付けの新聞記事は、CIA尋問担当官が子どもらを監禁しており、ある係官は次のように説明したことを確認している。

\*\*\*\*

「我々は子どもたちを丁寧に扱っている。とにかく、ほんの子どもなのだから……。しかし、我々は彼らの父親に関するできるだけ多くの情報を得る必要があるのだ。児童心理学者を常に立ち合わせており、彼らは最高のケアをしている」<sup>12</sup>

\*\*\*\*

ハリド・シャイフ・モハメドの戦闘員資格審査法廷の記録によると、ハリド・シャイフ・モハメドは自分の子どもが逮捕され虐待されていることについて知っていることを明らかにしている。「彼らは意図的に私の子どもを逮捕した。まだ幼い子どもだ。逮捕され、4か月も虐待を受けた」

13

2003年3月5日、マジード・カーンは、彼の弟のモハメドとその妻、そして生後1か月になる弟夫婦の娘とともにパキスタンのカラチで逮捕された。彼らは全員、所在不明の場所へ連行された。マジード・カーンの義理の妹とその娘は1週間拘禁され、前述したように、モハメド・カーンはおよそ1か月の間、パキスタン当局によって拘禁された。

2003年3月28日、報道によるとアーフィア・シディクイ (Aafia Siddiqui、22ページ参照) はパキスタンのカラチで3人の子どもとともに逮捕された。(当時子どもたちはそれぞれ7才、5才、6か月であった)

2003年8月11日、米国政府が秘密拘禁政策で拘束し、現在グアantanamoに拘禁されていることを認めているハムバリ (Hambali) は、彼の妻であるマレーシア国籍のノラルウィザ・リー・アブドゥラ (Noralwizah Lee Abdullah) とともにタイで米国との共同作戦中に逮捕されたと報道されている。

2004年7月24日、米国政府が秘密拘禁政策で拘束し、現在グアantanamoに拘禁されていることを認

---

<sup>12</sup> Olga Craig, *CIA Holds Young Sons of Captured al-Qaeda Chief*, *Sunday Telegraph* (U.K.), Mar. 9, 2003, 次のURLから閲覧可能。

<http://www.telegraph.co.uk/news/main.jhtml?xml=%2Fnews%2F2003%2F03%2F09%2Fwalga09.xml>

<sup>13</sup> 米国防省 Khalid Shaykh Muhammad, Transcript of CSRT (KSM) Hearing, 以下のURLから閲覧可能。

[http://www.defenselink.mil/news/Combatant\\_Tribunals.html](http://www.defenselink.mil/news/Combatant_Tribunals.html)

めているアームド・ハルファン・ガイラニ (Ahmed Khalfan Ghailani) は、報道によれば、パキスタンのグジャラートで、2人の女性 (ウズベク国籍の彼の妻と南アフリカ国籍のズバイル・イスマイル (Zubair Ismail) のパキスタン人妻) と5人の子どもとともに逮捕された。彼の逮捕はパキスタンと米国の共同作戦で、CIAとFBIの要員が指揮していたと報じられている。

## 勧告

- ・ 米国は、秘密または非公認の拘禁を中止しなければならない。
- ・ 米国によって、あるいは米国の指揮下で拘禁されている人びとに関して、米国および関与している第三国は以下のことを行わなければならない。
  - 被拘禁者の氏名と所在を明らかにすること。
  - 国際赤十字委員会 (ICRC) が訪問を求めているすべての被拘禁者に対し、ただちに同委員会による面会を認めること。
  - 明確な刑事容疑で被拘禁者を起訴し、公正な裁判に関する国際基準に合致した裁判所で裁判にかけること。さもなければ被拘禁者を釈放すること。
  - 被拘禁者が弁護士に面会し、家族と連絡を取ることを認めること。
- ・ 米国は、「テロリスト」の被疑者の家族を、家族関係に基づいて拘禁してはならない。
- ・ 米国は、たとえすでに釈放されたり、第三国の拘禁施設へ移送されたり、あるいは死亡していたとしても、「テロとの戦い」の下で拘禁されたすべての個人の氏名、消息、所在について明らかにしなくてはならない。
- ・ 米国は、秘密裏に拘禁された個人に対して、賠償金を含む補償を行わなければならない。
- ・ 各国政府は、秘密拘禁を支援してはならない。すなわち、各国政府は秘密拘禁の運営について支援したり協力したりしてはならない。そして、そのような運営の情報を得た場合はその情報を明らかにすべきである。



---

Amnesty International  
International Secretariat  
Peter Benenson House, 1 Easton Street, London WC1X 0DW,  
United Kingdom

翻訳・監修：社団法人アムネスティ・インターナショナル日本  
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町2丁目2 共同ビル（新錦町）4F  
TEL: 03-3518-6777 FAX: 03-3518-6778  
info@amnesty.or.jp  
<http://www.amnesty.or.jp/>

---